

## 文化プログラムについて

### 1 国等の動向

#### ①東京 2020 参画プログラム [(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会]

- 様々な組織・団体がオリンピック・パラリンピックとつながりを持ちながら大会に向けた参画・機運醸成・レガシー創出に向けたアクションを実施。
- 組織・団体のアクションを認証し、マークを付与。
- 「スポーツ・健康」、「街づくり」、「持続可能性」、「文化」、「教育」、「経済・テクノロジー」、「復興」、「オールジャパン・世界への発信」の 8 つの分野で構成。  
※このうち、「文化」の分野を「文化オリンピック」と位置付けている。

#### ◆ 東京 2020 公認プログラム〈東京 2020 公認マーク付与〉

- 各省庁、開催都市、スポンサー等が実施する事業を対象とする。  
【2016 年 10 月開始】

#### ◆ 東京 2020 応援プログラム〈東京 2020 応援マーク付与〉

- 非営利団体等が実施する事業を対象とする。  
【2017 年度開始。2016 年 10 月から府県、政令指定都市を対象に一部先行開始】

#### ②beyond2020 プログラム [2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化を通じた機運醸成策に関する関係府省庁等連絡・連携会議]

- 参画プログラムの対象団体に加え、ノンスポンサー企業が実施する事業が対象。  
【2017 年 1 月 31 日開始】

#### <beyond2020 プログラムの認証要件>

- ・日本文化の魅力を発信する事業・活動であること。  
※日本文化とは、伝統的な芸術からクールジャパンとして世界中が注目するコンテンツ、和食などの食文化、祭りや伝統的工芸品など、多様なものを含む。
- ・多様性・国際性に配慮した以下のいずれかの要素を付加した事業・活動であること。
  - 障害者にとってのバリアを取り除く取組
  - 外国人にとっての言語の壁を取り除く取組

#### ③文化庁の取組

- 「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム」、「文化庁芸術祭」、「国民文化祭」などを主催。
- 地方公共団体、民間等が主催する取組に対して既存制度に基づき補助。
- 文化情報プラットフォーム(ポータルサイト)を構築予定。

## 2 滋賀県の取組

### ①東京 2020 参画プログラムへの参画

- 東京 2020 参画プログラムについて平成 28 年 9 月 26 日主体登録完了。これまでに 4 件のイベントについて参画プログラムのアクション認証を得た。

### ②(仮称)滋賀文化プログラムの検討

- 平成 28 年 3 月に「(仮称)滋賀文化プログラム(案)」を作成。
- 平成 28 年 8 月、平成 29 年 2 月に文化審議会において議論。  
＜主な意見＞
  - 観光等の産業分野に文化資源を活用していくためには、文化の価値を共有するためのノウハウが必要であり、県として取組を進めてほしい。
  - 文化プログラムを市町と連携していく好機と捉えるべき。県庁内でも分野横断で複合的な政策効果を目指すことが重要。県民との協働も意識してほしい。
  - イベント等の企画の段階から大学生など若い人を巻き込んでほしい。
  - 高齢な方が増えているが、文化ボランティアなど活躍いただける場をもっと設けてはどうか。
  - 地域に出向いていくイベントを行うなど裾野の広がりを意識してほしい。
  - 様々な文化資源を組み合わせられるプロデューサー的な人材を育成していくことが大切ではないか。
- 平成 28 年 11 月に県内全市町の担当者と文化プログラムについて意見交換。  
＜主な意見＞
  - 他市町の文化イベントとも連携を図る必要があると考えているが、現状では積極的な交流や情報共有ができていない。
  - 積極的に情報発信したいが、既存の行事では発信が弱く目立たない。東京等の県外への情報発信や国際的な情報発信もネック。
  - 地域の特色ある歴史・伝統文化(祭り、狂言猿楽、びん手鞠、忍者、江州音頭、伝統料理など)の伝承や PR について情報交換できたらよいのではないかと。
  - 市町の美術展などの運営・展示に県の学芸員等から助言をもらえるとよい。

### ③文化プログラム推進事業の実施

#### ◆ びわ湖☆アートフェスティバル(BAF)2016

- 滋賀県ゆかりの若手芸術家や子どもたちによる芸術の祭典を実施し、滋賀の次世代の文化の担い手を育成した。
- ・びわ湖ホール会場(9 月 18 日(日))  
次世代文化賞歴代受賞者によるコンサート、県内ジュニアオーケストラによる合同コンサート、県内の高校の軽音楽部によるライブなどを開催。

- ・近代美術館会場(8月30日(火)～9月4日(日))  
次世代文化賞を受賞した新進気鋭の若手作家4名が近代美術館のギャラリーで合同作品展を開催するとともに関連ワークショップを実施。
- ・小学校会場
  - 大津市立仰木の里東小学校(9月5日(月)～16日(金))  
成安造形大学の学生が身近な素材を使用した作品で教室を飾り付け、作品解説を行うとともに、子どもたちと交流した。
  - 東近江市立布引小学校(10月11日(火)～21日(金))  
若手画家が木炭やペインティングナイフなどを使用し、キャンバスに絵を描くワークショップを実施し、校内に作品を展示した。

#### ◆ チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院日露交歓コンサート

- ・日時・会場:9月22日(木・祝) 日野町町民会館わたむきホール虹  
チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院メンバーのクラシックコンサートを開催。  
日野町少年少女合唱団も共演し、国際交流を促進した。

### 3 今後の予定

#### ①東京 2020 参画プログラム等への参画

- 東京 2020 参画プログラムおよび beyond2020 について、随時県関連事業のアクション申請を行うとともに、市町や関係団体等に周知を行う。

#### ②(仮称)滋賀文化プログラムの策定・推進

- 国等の動向も踏まえ、市町や関係団体と協議しながら「(仮称)滋賀文化プログラム推進会議」の立ち上げ、「(仮称)滋賀文化プログラム」の策定および推進を図る。

#### ③文化プログラム推進事業の実施

- 平成 29 年度においても、びわ湖ホールや小学校等において滋賀県ゆかりの若手芸術家や子どもたちによる音楽や美術等の芸術の祭典を実施し、滋賀の次世代の文化の担い手育成や多文化理解を促進する機会を提供する。  
また、本県の文化資源を活用した誘客や交流促進、効果的な情報発信などの方策の検討を行う。